

平成 2 3 年

## 北海道コンクリート診断士会第3回通常総会

日 時 平成23年 2月 1日

場 所 かでる2. 7 710会議室

# 北海道コンクリート診断士会

## 第3回通常総会次第

開催日時：平成23年 2月 1日（火）

開催場所：かでの2. 7 710会議室

- 1.開会の辞 14:00
- 2.会長挨拶 上原会長
- 3.来賓者挨拶 小野顧問
- 4.議長選出（会則第10条（6）により、会長が行う）
- 5.議案
  - 第1号議案 平成22年度事業報告
  - 第2号議案 平成22年度収支決算
  - 第3号議案 平成23年度事業計画（案）
  - 第4号議案 平成23年度収支予算（案）
  - 第5号議案 会則の改定について
  - 第6号議案 役員改選について
- 6.その他、質疑応答
  - 1）日本コンクリート診断士会設立後の状況報告 小野顧問
- 7.閉会の辞 15:00

### 特別講演次第

- 1.開会の辞 15:00
- 2.特別講演
  - 演題：コンクリートの凍害劣化について  
－寒地土木研究所における最近の研究－
  - 講師：（独）土木研究所寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ  
耐寒材料チーム 上席研究員 田口 史雄 様
- 3.閉会の辞 16:00

## 平成22年度 事業報告

### 第2回通常総会

平成22年1月25日（月）14:00～ 北海道開発協会会議室

- ・総会
  - ①平成21年度事業報告
  - ②平成21年度収支決算
  - ③平成22年度事業計画（案）
  - ④平成22年度収支予算（案）
- ・来賓挨拶 東京コンクリート診断士会会長 小野 定 氏
- ・会長挨拶 北海道コンクリート診断士会会長 上原 泰正 氏  
(出席者：正会員26名、賛助会員（個人）3名、賛助会員（法人）15社)

### 特別講演

平成22年1月25日（月）15:00～ 北海道開発協会会議室

- ・演題 塩害と凍害の複合劣化
- ・講師 北海道大学大学院工学研究科教授 名和 豊春 氏  
(出席者：正会員26名、賛助会員（個人）4名、賛助会員（法人）17社（26名）)

### 診断士普及講習会

平成22年3月17日（水）10:00～ 北海道開発協会会議室

- ・内容 コンクリート診断技術のポイント
- ・講師 (株)C&R コンサルタント 代表取締役社長 小野 定 氏  
(出席者：正会員10名、賛助会員（個人）5名、賛助会員（法人）13社（46名）)

### 第1回コンクリート診断技術研修会

平成22年5月28日（金）13:30～ かでる2・7 520 研修室

- ・内容
    - ①診断事例「港湾鉄筋コンクリート構造物の再利用性に関する検討」
    - ②診断事例「積雪寒冷地における鉄筋コンクリート床版の変状調査  
及び診断に関する報告書－塩害と凍害の複合劣化等について－」
  - ・発表者
    - ①日本データサービス(株) 木村 博史 氏
    - ②野 外 科 学 (株) 小室 秋雄 氏
- (出席者：正会員38名、賛助会員（個人）3名、賛助会員（法人）9社（25名）)

## 第1回役員会

平成22年5月28日(金) 13:30～ かでる2・7 520 研修室

- ・内容 ①アンケート結果について
- ②研修会(今後の予定)について
- ③現場研修会の選定について
- ④日本コンクリート診断士会総会出席について

(出席者:役員9名)

## 臨時総会(メールにて)

平成22年6月2日(水)～平成22年6月15日(火)

- ・内容 ①日本コンクリート診断士会の支部化についての賛否  
(投票者:正会員56名、賛助会員(個人)7名、賛助会員(法人)23社)

## 第2回コンクリート診断技術研修会

平成22年7月31日(土) 9:00～ 北海道職業能力開発大学校

- ・内容 鉄筋コンクリートの診断・非破壊試験実習  
「圧縮強度、動弾性係数の推定、鉄筋探査、ひび割れの測定、中性化」
- ・講師 北海道職業能力開発大学校元教授 田畑 雅幸 氏  
日本データサービス(株) 大内 義仁 氏

(出席者:正会員20名)

## 現場研修会(函館)

平成22年9月17日(金) 12:00～

- ・内容 ①補修済物件(擁壁)
- ②笹流ダム
- ③函館山砲台跡
- ④戸井線アーチ橋
- ・説明者 ①株式会社山田組 神田 貴尚 氏
- ②函館市水道局事業部  
浄水課赤川浄水担当主任 斉藤 和久 氏
- ③函館産業遺産研究会 葦澤 憲吉 氏
- ④函館産業遺産研究会 葦澤 憲吉 氏

(出席者:正会員11名、賛助会員(個人)1名、賛助会員(法人)6社(10名))

### 第3回コンクリート診断技術研修会

平成22年11月29日（木）13:15～ 北海道開発協会会議室

- ・内容 ①診断事例「農業基幹水利施設の機能保全計画」
- ②診断事例「道路橋における診断・補修事例」
- ③補修事例「釧路港西港区第2埠頭東側岸壁ケーソン補修工事」
- ④補修事例「乾式吹付け工法による補修事例」

- ・発表者 ①(株)アース設計事務所 日南 始 氏
- ②大北土建工業(株) 片山 貴大 氏
- ③(株)濱谷建設 得地 幹男 氏
- ④(株)エルグ久保 隆昭 氏

(出席者：正会員32名、賛助会員（個人）2名、賛助会員（法人）13社（26名）)

### 第2回役員会

平成22年12月22日（木）14:00～

(財)港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部内大会議室

- ・内容 ①平成23年度通常総会について
- ②研修会、現場研修会の議題について
- ③講演会の演題及び講師について
- ④アンケートについて

(出席者：役員8名)

## 『平成22年度 現場研修会（函館）』報告

### 1. はじめに

北海道コンクリート診断士会の現場研修会も2回目となり、研修先に関する会員アンケートの結果、函館市に決まりました。研修先として土木遺産と補修事例を中心に選定しました。

### 2. 研修概要

研修日時：平成22年9月17日（金）

研修先／講師：

#### ①補修事例（擁壁）

ガイド：神田 貴尚（診断士会 幹事）

#### ②笹流ダム

講師：斉藤 和久氏

（函館市水道局事業部）

#### ③函館山砲台跡、

#### ④戸井線アーチ橋群

講師：葦澤 憲吉氏

（函館産業遺産研究会）

参加人：19名

### 3. 研修報告

#### \* 日本最古のコンクリート電柱（追加）

①の現地に向かう途中にあるため、追加研修先として寄りました。説明看板には「高さ10mのこのコンクリート電柱は現場打ち工法で～」と書かれており、参加者は大正時代の施工技術に注目していました。大正10年の函館大火後の耐火建築の一環として採用したようです。



写真1 コンクリート電柱の研修

#### ① 補修事例（擁壁）

実際の補修した擁壁について、補修前の劣化状況・調査診断・補修工法について説明しました。参加者からは、補修設計や補修に関する質問が多く、関心の高さを感じました。



写真2 補修した擁壁の研修

#### ② 笹流ダム

このダムは大正12年に竣工した日本初のバツレスダムです。斉藤講師には、このダムの工法選定（低コストなど）や、維持管理の経緯（昭和58年の大改修など）の説明がありました。平成13年には土木学会選奨土木遺産に、平成20年には近代化産業遺産として認定されており、現在も函館市民の水がめとして機能しているそうです。



写真3 笹流ダムの研修

### ③ 函館山砲台跡

函館山山頂へ移動し、第一砲台跡地へ。函館山の要塞として明治33年に竣工しましたが、現在はロープウェイ山頂駅になってます。通路の奥にある地下通路入り口へ移動、内部の構造の説明などがありました。頭上にある桁の上は、山頂の駐車スペースになってます。



写真4 奥の地下通路入り口の研修

山頂より少し下のつつじ山駐車場へバスで移動、徒歩で観光用迂回路を通り御殿山第二砲台跡地へ。砲台の配置や階段下の弾薬庫の構造について説明がありました。



写真5 御殿山第二砲台跡地の研修

### ④ 戸井線アーチ橋群

函館山から恵山方面へ移動、途中の汐首岬付近にある戸井線アーチ橋群の1つである汐首陸橋の研修です。建設時は鉄不足の時代ということで、無筋コンクリート構造とのことです。

残り3橋(瀬田来第1陸橋・瀬田来第2陸橋・蓬内橋)はバス移動中に車内から確認しつつ説明をして頂きました。中でも蓬内橋は23年度に架け替えのため取り壊しが決定しているようで、貴重な研修になりました。

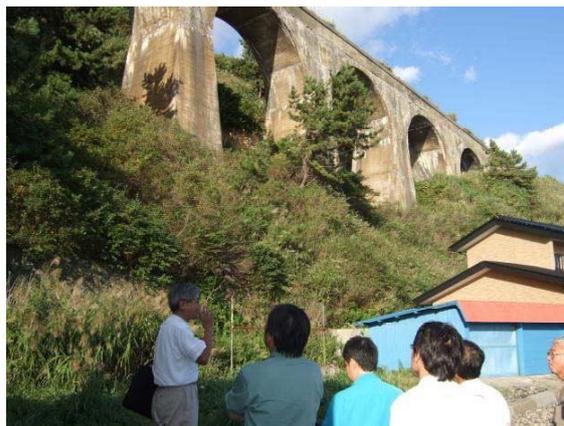


写真6 汐首陸橋の研修

#### \* 汐首岬第一砲台 (追加)

菫澤講師のお勧めで追加しました。構造物表面の迷彩色は当時のもので、青森県の大間砲台とセットで津軽海峡東側を防衛したそうです。



写真7 汐首岬第一砲台の研修

### 4. 終わりに

当日は天候もよく、無事終了することができました。講師の斉藤様、菫沢様には施工や補修の歴史を丁寧にいただき、参加者の方々も熱心に研修を受けていました。皆様、ご協力ありがとうございました。



(文責: 神田貴尚)

第2号議案

平成22年 北海道コンクリート診断士会 決算書

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	比較	記事
	円	円	円	
会費				
個人 5,000円/人	320,000	400,000	80,000	正会員 70人(54)、賛助会員 10人(10)
法人 30,000円/社	720,000	750,000	30,000	法人会員 25社(24)
前年度繰越金	232,641	232,641	0	
預金利息	118	184	66	銀行利息(2月、8月)
検査機器の試験実習会費	100,000	60,000	△ 40,000	3,000円×20人
現場研修会費		46,000	46,000	2,000円×23人
収入の部合計	1,372,759	1,488,825	116,066	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	比較	記事
	円	円	円	
1) 第1回技術研修会(5月28日)	114,000	92,440	21,560	
会場費	24,000	22,640	1,360	かでの2・7
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	30,000	9,800	20,200	
2) 第2回技術研修会(7月31日)	114,000	64,792	49,208	
会場費	24,000	23,055	945	北海道職業能力開発大学校
講師料	60,000	40,000	20,000	
雑費	30,000	1,737	28,263	
3) 第3回技術研修会(11月29日)	114,000	92,400	21,600	
会場費	24,000	24,000	0	開発協会会議室
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	30,000	8,400	21,600	
4) 診断士普及講習会(3月17日)	260,000	255,770	4,230	
会場費	40,000	40,000	0	開発協会会議室
講師料	120,000	120,000	0	
旅費(講師)	70,000	70,000	0	
雑費	30,000	25,770	4,230	
5) 講演会(1月25日)	48,000	36,820	11,180	
会場費	8,000	8,000	0	開発協会会議室
講師料	20,000	20,000	0	
雑費	20,000	8,820	11,180	
6) 現場研修会(9月17日)	50,000	67,126	△ 17,126	函館
謝礼	50,000	14,626	35,374	
バス代		52,500	△ 52,500	
7) 総会費(1月25日)	66,000	66,000	0	
会場費	16,000	16,000	0	開発協会会議室
旅費(来賓)	50,000	50,000	0	
8) 検査機器の試験実習	200,000	0	200,000	第2回技術研修会に移行
9) 事務費	46,000	108,815	△ 62,815	
10) その他予備費	360,759	0	360,759	
支出の部合計	1,372,759	784,163	588,596	

収入1,488,825円-支出784,163円=次年度繰越金704,662円

# 監 査 報 告 書

北海道コンクリート診断士会

会長 上 原 泰 正 様

平成22年度北海道コンクリート診断士会における事業執行状況及び収支決算について、会計帳簿など関係書類を監査した結果、いずれも適正に執行処理されていることを認めます。

平成22年12月22日

北海道コンクリート診断士会

監事 中 村 信 之



監事 秋 山 護



## 第3号議案

### 平成23年度 事業計画（案）

1. 研修会（会則4条（1） コンクリート診断技術の向上のための活動）
  - ◇企業の診断・補修工事の実施報告会
  - ◇会員の診断・補修工事の実施報告会
  - ◇診断・補修工事歩掛作成について ワーキンググループによる年次計画作成
  
2. 現場研修会（会則4条（1） コンクリート診断技術の向上のための活動）
  - ◇補修工事現場見学
  - 又は
  - 「旧十勝大橋」・「稚内港北防波堤ドーム」などの古い建造物の見学
  
3. 講演会（会則4条（2） コンクリート診断士の品位保持に関する活動）
  
4. 講習会（会則4条（3） コンクリート診断士制度の普及）

事業計画工程表

	1月	2月	3月	5月	7月	8月	9月	11月
平成21年度	30日 ③（総会）	21日 ④		30日 ①	26日 診断士試験	27日 ①	25日 ②	26日 ①
平成22年度	25日 ③（総会）		17日 ④	28日 ①	25日 診断士試験 31日①		17日 ②	29日 ①
平成23年度		1日 ③（総会）	中旬 ④	下旬 ①	24日 診断士試験	上旬 ①	中旬 ②	下旬 ①

第4号議案

平成23年 北海道コンクリート診断士会 予算書(案)

1. 収入の部

項 目	本年度予算	前年度決算	比較	記 事
会費	円	円	円	
個人 5,000円/人	390,000	400,000	△ 10,000	正会員 69人、賛助会員 9人
法人 30,000円/社	750,000	750,000	0	法人会員 25社
前年度繰越金	704,662	232,641	472,021	
預金利息	184	184	0	銀行利息(2月、8月)
検査機器の試験実習会費	60,000	60,000	0	3,000円×20人
現場研修会費	0	46,000	△ 46,000	
収入の部合計	1,904,846	1,488,825	416,021	

2. 支出の部

項 目	本年度予算	前年度決算	比較	記 事
	円	円	円	
1) 第1回技術研修会(5月下旬)	94,000	92,440	△ 1,560	
会場費	24,000	22,640	△ 1,360	開発協会会議室
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	10,000	9,800	△ 200	
2) 第2回技術研修会(8月上旬)	94,000	64,792	△ 29,208	
会場費	24,000	23,055	△ 945	開発協会会議室
講師料	60,000	40,000	△ 20,000	
雑費	10,000	1,737	△ 8,263	
3) 第3回技術研修会(11月下旬)	94,000	92,400	△ 1,600	
会場費	24,000	24,000	0	開発協会会議室
講師料	60,000	60,000	0	
雑費	10,000	8,400	△ 1,600	
4) 診断士普及講習会(3月中旬)	260,000	255,770	△ 4,230	
会場費	40,000	40,000	0	開発協会会議室
講師料	120,000	120,000	0	
旅費(講師)	70,000	70,000	0	
雑費	30,000	25,770	△ 4,230	
5) 講演会(2月1日)	36,900	36,820	△ 80	
会場費	10,820	8,000	△ 2,820	かでの2. 7
講師料	11,000	20,000	9,000	
旅費(講師)	5,000	0	△ 5,000	
雑費	10,080	8,820	△ 1,260	
6) 現場研修会(9月中旬)	70,000	67,126	△ 2,874	
謝礼	20,000	14,626	△ 5,374	
バス代	50,000	52,500	2,500	
7) 総会費(2月1日)	60,820	66,000	5,180	
会場費	10,820	16,000	5,180	かでの2. 7
旅費(来賓)	50,000	50,000	0	
8) 検査機器の試験実習	70,000	0	△ 70,000	
9) 事務費	100,000	108,815	8,815	
10) 日本コンクリート診断士会負担金	39,000	0	△ 39,000	
11) その他予備費	986,126	0	△ 986,126	
支出の部合計	1,904,846	784,163	△ 1,120,683	

第5号議案

会則変更（案）

変 更 後 (案)	変 更 前
<p>(種類、及び定数)</p> <p>第 8 条 本会に次の役員を置く</p> <p>(1) 会 長 1人</p> <p>(2) 副 会 長 1人</p> <p>(3) 幹 事 <u>5人以上20以内</u></p> <p>(4) 監 査 役 2人</p> <p>(5) 事務局長 1人</p>	<p>(種類、及び定数)</p> <p>第 8 条 本会に次の役員を置く</p> <p>(1) 会 長 1人</p> <p>(2) 副 会 長 1人</p> <p>(3) 幹 事 5人</p> <p>(4) 監 査 役 2人</p> <p>(5) 事務局長 1人</p>

役員名簿(案)

:変更

役 職	平成21年度～平成22年度	平成23年度～平成24年度(案)	備考
会 長	上原泰正 (北日本港湾コンサルタント(株))	上原泰正 (北日本港湾コンサルタント(株))	
副 会 長	平山正幸 (大北土建工業(株))	平山正幸 (大北土建工業(株))	
幹 事	田畑雅幸 (北海道職業能力開発大学校)	田畑雅幸 (北海道職業能力開発大学校)	
幹 事	大塩進一 (新太平洋建設(株))	大塩進一 (新太平洋建設(株))	
幹 事	神田貴尚 (株山田組)	神田貴尚 (株山田組)	
幹 事	大内義仁 (日本データサービス(株))	得地幹男 (株濱谷建設)	
幹 事	奥義男 (三ツ輪ベントス(株)根室工場)	奥義男 (三ツ輪ベントス(株)根室工場)	
幹 事		種綿順一 (大成ロテック(株))	
幹 事		奈良義明 (HRS(株))	
監 査 役	中村信之 ( (財)港湾空港建設技術 サービスセンター 北海道支部)	中村信之 ( (財)港湾空港建設技術 サービスセンター 北海道支部)	
監 査 役	秋山護 (株ホッコン)	秋山護 (株ホッコン)	
事 務 局 長	得地幹男 (株濱谷建設)	大内義仁 (日本データサービス(株))	